

14. 腎がん

○: 専門とするがん ×: 診療を実施していないがん
 ※別紙5に入力した内容が反映されています。
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
 ○: あり ×: なし

当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数		治療の実施状況 (○: 実施可 / ×: 実施不可) / 昨年の実績 (あり/なし) ※平成25年1月1日～12月31日							各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ					
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術			化学療法	インターフェロン療法	放射線療法 体外照射		ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください	掲載されている内容				
			開腹手術	腹腔鏡下手術	腹腔鏡下小切開手術						治療内容	治療実績	医師の専門分野		
1 泌尿器科	3	3	状況	○	○	×	○	○	○	手術が基本治療で、適応があれば腎機能温存のために腎部分切除も行っています。手術不可能症例や有転移症例にはインターフェロンや分子	ア		掲載あり	掲載あり	掲載あり
			実績	あり	あり	なし	あり	あり	あり		イ	http://www.takatsuki.jrc.or.jp/branch/cancer_support.html	掲載あり	掲載なし	掲載なし
2			状況								ア	http://			
			実績								イ	http://			
3			状況								ア	http://			
			実績								イ	http://			
4			状況								ア	http://			
			実績								イ	http://			
5			状況								ア	http://			
			実績								イ	http://			

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日～12月31日	例: 腎細胞がん 腎がん
------------------------------------	-----------------